

議会だより げいせい

2023

Vol.116

10月27日

10月臨時会

12月9日~15日

12月定例会

2
条例の改正

3
4年度補正予算

4-8
4氏が一般質問

初日の出

編集 高知県芸西村議会広報編集委員会
発行 議長 岡村 俊彰
印刷 ㈱高知新聞総合印刷

令和4年

12月定例会

令和4年12月定例会は、12月9日から15日までの会期で開かれ、令和4年度補正予算など村長提出11議案と議員提出2議案を審議・採決した。

また、一般質問には4氏が登壇し、村政全般についてたまたした。

その概要は以下のとおり。

条例

一般職給与 条例の改正

人事院勧告を踏まえ、一般職の職員の給料月額、期末手当を改正するもの。

【全員賛成で可決】

議員の期末 手当・村長等の 給与と条例の改正

人事院勧告を踏まえ、一般職員の給与改正に伴い、期末手当の支給割合を改正するもの。

【全員賛成で可決】

職員の定年等 に関する 条例の改正

法の改正に伴い、本村職員の定年に関する条例を一部改正するもの。

令和5年度から現行の60歳定年から、2年に1歳ずつ段階的に引き上げ、令和13年以降は65歳を定年年齢とするもの。

【全員賛成で可決】

地方公務員法 の改正に伴う 関係条例の整 備に関する条例

法の改正に伴い、職員の勤務時間、休暇等に関する条例など、7つの条例の改正、1つの条例を廃止するもの。

【全員賛成で可決】

第3回 臨時会 (10月27日)

令和4年度 補正予算

一般会計 (第3号)

3495万円を追加し、総額を58億2041万円とするもの。
主なものは、価格高騰緊急支援給付金3250万円、マイナンバーカード申請支援委託料12万円など。

【全員賛成で可決】

意見書 (議員提出)

◎介護保険制度の改善を求める意見書

【全員賛成で可決】

送り先：内閣総理大臣ほか関係各大臣

◎子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書

【全員賛成で可決】

送り先：衆参両院議長及び内閣総理大臣ほか関係各大臣

主なもの

区 分	金 額
駐車場整備工事費	△525万円
ふれあいセンターエアコン改修工事費	△680万円
みどりの食料システム戦略推進事業補助金	△1,977万円
レンタルハウス建設補助金	326万円
経営発展支援事業補助金	324万円
施設園芸燃油高騰緊急対策事業費補助金	1,589万円
肥料価格高騰緊急対策事業費補助金	650万円

【全員賛成で可決】

施設園芸燃油高騰緊急対策事業費補助金
肥料価格高騰緊急対策事業費補助金

1,589万円
650万円

介護保険会計
(第2号)

28万円を追加し、総額を5億8752万円とするもの。

主なものは、居宅介護サービス給付費1753万円の減。

地域密着型介護サービス給付費287万円、施設介護サービス給付費1466万円の増など。

【全員賛成で可決】

住宅資金貸付
会計(第1号)

41万円を追加し、総額を370万円とするもの。一般会計繰出金41万円。

【全員賛成で可決】

簡易水道会計
(第2号)

1696万円を追加し、総額を2億3776万円とするもの。

主なものは、新設改良事業実施設計委託料320万円、布設替工事費280万円、電気料580万円など。

【全員賛成で可決】

下水道会計
(第2号)

590万円を追加し、総額を2億3788万円とするもの。

主なものは、電気料570万円など。

【全員賛成で可決】

12月定例会では4氏が登壇し、村政全般について質問しました。

- 濱田 圭介…………… 4
ふるさと納税の地域活性化について
- 安岡 公子…………… 5
 - ・ 不登校児童生徒の現状と対応について
 - ・ 学校給食費の無償化を
 - ・ 加齢性難聴者への補聴器助成を
- 仙頭 一貴…………… 6
飲食店応援事業の継続を
(その他) かつぱ市について
- 西笛 千代子…………… 7
 - ・ パートナーシップ宣誓制度の導入について
 - ・ 部活動の地域移行について

ふるさと納税の地域活性化について

ニーズを把握し、支援に努める 村長



濱田 圭介議員

問 濱田議員

本村のふるさと納税の寄附額は、全国においても特筆すべきものとなっている。この制度の寄附金以外の意義は、寄附者と自治体のつながりが始まる仕組みといえる。ふるさと納税制度の目的は地方創生、つまり地域活性化である。寄附金は村の貴重な財源であるが、本来の目的に沿った取り組みが重要ではないか。現在、本村が行っている返礼品に係る地域活性化事業と、今後の地域活性化対策について聞く。

答 池田企画振興課長

村内の個人または事業者が、返礼品の開発や製造、その他関連事業を担うことで、地域の活性化につながることは大切なことと思っている。返礼品に係る地域活性化事業はないが、返礼品の販売促進や開発などの提案を、村内の個人または事業者に行っている。今後、既存の地域づくりに関する支援策については、他市町村や関係機関からの情報を収集しながら検討していきたい。

答 溝渕村長

ふるさと納税制度の大きな目的は地方創生であるので、地域が活力を身に付け、納税者と自治体がお互いの成長を高める関係を築いていかなければならない。村内の個人または事業者がふるさと納税に参入することは、雇用創出、経済活性化につながることから、ニーズを把握し、できる限りの支援を行えるよう努める。

不登校児童生徒の現状と対応について



安岡 公子議員

個々に応じた対応が大事 教育長

問 安岡議員

本村の不登校児童生徒の現状と、教育支援センターの設置はできないかを問う。

答 佐藤教育次長

不登校児童生徒は、小中学校とも数人が該当する。

相談室や保健室登校、タブレットによるオンライン授業や学習館での対応を提案している。

答 池田教育長

重要なことは、教育支援センターという施設の有り無しにかかわらず、それぞれの子どもの現状に応じたきめ細かな支援であると考ええる。

問 安岡議員

文科省も「どの生徒にも起こり得るものである」という視点にたつて未設置地域への教育支援センターまたはそれに代わる体制整備」を促している。

学校の外に居場所づくりはできないか。

答 池田教育長

所管は違うが、今年3月に子育て世代包括支援センターが開設され、相談窓口が広がり、きめ細かい対応ができている。

個々に応じたきめ細かな支援が大事なので、学習館などを活用して支援していきたい。

問 安岡議員

学校の外に「いつでも来ていいんだよ」という休養と再生の居場所をつくり、学力・進路をはじめ、子どもたちが未来に一步踏み出していける力をつけることを考える時ではないか。

答 池田教育長

教育支援センターは必要性のある施設だと考えているが、財源や場所、教員の高い専門性が必要だ。

子ども自身に合わせた居場所の確保ができれば、必ずしも教育支援センターでなくてもいいのではないかと。個々に応じた対応が一番大事だと考えている。

学校給食費の無償化を

全庁的な予算判断が必要 村長

答 佐藤教育次長

保護者からは材料費のみを集金しており、消費税引き上げや物価高騰があっても、不足分は公費負担している。給食の調理委託費なども公費負担しており、無償化となると財政的にも負担が大きい。

答 池田教育長

全額を公費負担した場合は、新たに1100万円ほどの財源が必要となる。

現時点での完全無償化は考えていないが、今後、何か子育て世帯に対して、支援ができないか思案していきたい。

問 安岡議員

学校給食は子どもの多い世帯ほど高負担になっている。子育て支援の一環として無償化できないか。



給食の準備風景

問 安岡議員

学校給食は「食育という観点からも、公費負担にすべきである」という意見が大きくなりつつある。

もっと子育てしやすい村にして人口を増やすためにも、画期的政策の一つとして検討する時ではないか。

答 溝渕村長

学校給食の無償化による公費負担は、多額の支出が恒常化していくことなので、決して低いハードルではない。

全庁的な予算編成の中で、他の事業への財源配分なども含めて総合的に判断していかなければならぬ。

加齢性難聴者への補聴器助成を

全国統一的な補助制度の創設を 村長

問 安岡議員

補聴器は平均価格が15万円以上と高額であり保険適用がない。介護予防の観点からも購入支援制度を創設できないか。

答 都築健康福祉課長

今後、高齢者の介護予防事業や認知症対策などの検討の中で、選択肢の一つとして考えていきたい。

答 溝渕村長

国全体で起きている事象なので、誰もが使いやすい制度として、全国のどの地域にもまんべんなく適用できるような補助制度の創設を期待している。今後はさまざまな機会を捉え、国への要望につなげていきたい。

飲食店応援事業の継続を

慎重な検討と判断 村長



仙頭 一貴議員

問 仙頭議員

飲食店応援事業の、300円事業は村内外問わず好評だった。継続をしようか。

答 池田企画振興課長

この事業は、令和2年度3万人、令和3年度10万人、本年度は5万人限定で実施した。9月1日より開始し、11月20日に終了している。

割引はクーポンレスとし、地域振興券や他の割引制度との併用も可能で好評だった。

広報も、各店舗の営業時間や提供商品の写真を掲載したチラシを製作し、SNSなどの情報発信を積極的に行った。

仮に、事業を村単独で継続となると、地域

全体が活性化する制度設計が求められる。

業を単費で行うことは慎重な検討と判断が求められる。

答 溝渕村長

国からの交付金がな
いまま、村単独で事業
を継続させることはハ
ードルが高い。

今回、検証作業で一
定の結果が得られれば
今後の活性化策の参考
データとして活用でき、
効果的な施策となるよ
うに反映させたい。

飲食店に特化した事

パートナーシップ宣誓制度の導入について

しかるべき方向性を整理していきたい **村長**



西笛千代子議員

問 西笛議員

パートナーシップ宣
誓制度を開始している
自治体が増えてきてい
るが、本村に必要と考
えるか。準備をしてい
るのであれば、どう進
んでいるのか。

い合わせがあった記録
も残っていない。
今回の提案を受け、
他市町村などの事例を
参考にしながら、どう
いった形や、方法で住
民の理解を進めていけ
るのかも含め勉強して
いきたい。

村の人権教育研究協
議会の基本方針のもと、
全国的な流れ、県内の
動向なども注視し、本
村にとってのしかるべ
き方向性について、今
後十分に整理していき
たいと考える。

また、この制度を導
入するのであれば、村
民の理解を得るために
どういう方法で説明し
ていくのかを問う。

答 溝渕村長

こうした制度を地方
自治体の中で定着させ
るための手続きとして
は、条例で定める場合
と、要綱で定める場合
がある。

答 都築健康福祉課長

10月11日時点で240の
自治体が制度を導入し
ており、高知市、土佐
清水市、黒潮町も含ま
れる。香南市も来年3
月に導入予定である。

責任ある行動を伴う
条例制度のほうが、L
GBTの人たちに、よ
り強く寄り添った形で
あると考える。

本村では、これまで
制度導入についての議
論や検討がされたとは
聞いていない。
また、住民からの問

しかし、現実問題と
して、まだまだ議論を
要する部分も多いので、
直ちに制度導入すると
の判断にはなり難い。

5年度から、中学校の政府の方針では令和

問 西笹議員

部活動の地域移行について

中学校と相談しながら進める 教育長

部活動の地域移行が段階的に始まるようだが、本村ではどう取り組んでいくのか。

部活動の現状や問題は。指導教員からの意見や要望はあるのか。本村には人材バンクがあるが、活用する考えはあるのか。これを活用すれば、今までにない部活動もできると考える。

答 佐藤教育次長

中学校部活動は、陸上部、女子バレー部、野球部、剣道部、吹奏楽部の5つ67人で、全生徒数の90%が所属している。

地域移行についての各顧問からの意見聴取は、県の方性をみながら

から順次行っていく。

人材バンク活用については、現時点で71人の登録者がいる。吹奏楽部や野球部では、登録者のみならず、地域の人々が支援に入ってきたのが現状だ。

生徒数の減少により、さらに部の新設をする、と、部員が分散し、チームとして出場できないことや、地域支援者の時間的負担、責任問題などの課題も考えられる。

答 池田教育長

地域移行については、学校の働き方改革の推進や、競技未経験の教員が顧問になった場合でも、専門的な指導が受けられる。生徒数の減少に際しても、部活動の存続が図れることなどを目的に、令和7

年度末を目標として地域移行することを目指すことが提言された。

現時点では、まだ県からの説明を受けている段階であり、協議はされていない。今後、県からの助言を得て、令和7年度末に向けて地域移行により、不利益となる生徒がいないかなどを見極め、中学校と相談しながら、検討を進めていく。

直ちに令和5年4月

議会の動き

- 10月
 - 8日(土) 県選出国會議員との意見交換会・高知東海岸グルメまつり【議長】
 - 14日(金) 四国8の字ネットワーク四国東南部連盟 秋の勉強会【議長】
 - 17日(月) 海部・安芸郡議長会県知事・県議長要望【議長】
 - 18日(火) 例月出納検査【監査委員】
 - 20日(木) トップセミナー【正副議長・常任委員長】
 - 21日(金) 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム定例議会【議長】
 - 27日(木) 令和4年第3回芸西村議会「臨時会」
 - 28日(金) 香南市議会新任挨拶【正副議長】

- 11月
 - 1日(火) 高知県戦没者追悼式【議長】
 - 2日(水) 安芸市議会新任挨拶【正副議長】

- 8～9日 第66回町村議会議長会全国大会・海部安芸郡中央要望【議長】
- 18日(金) 例月出納検査【監査委員】
- 24日(木) 排水機場・浄化センター・導流堤の視察【経済建設常任委員会】
- 28日(月) 議員行政実務研修会【議員】

- 12月
 - 1日(木) 安芸広域市町村圏事務組合定例議会【議長】
 - 9日(金) 令和4年第4回芸西村議会「定例会」開会
 - 14日(水) 令和4年第4回芸西村議会「定例会」一般質問
 - 15日(木) 令和4年第4回芸西村議会「定例会」審議・採決 閉会
 - 議会だより116号第1回広報編集委員会
 - 例月出納検査【監査委員】
 - 22日(木) 安芸郡町村議会議長会臨時総会【議長】
 - 23日(金) 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム定例議会【議長】
 - 26日(月) 議会だより116号第2回広報編集委員会
 - 27日(火)

常任委員会 活動報告

経済建設常任委員会

排水機場・浄化センター・導流堤の視察

(11月24日)

和食川河口の排水施設や排水ポンプの能力など説明を受け、現地での視察をしました。



浄化センター屋上



和食排水機場

議会の傍聴に
おいでください。

新型コロナウイルス感染症対策をしておりますが、傍聴の際はマスク着用など感染防止対策にご協力をお願いします。

また、議場の音声を庁内放送しております。庁舎3階へお越しになれない方も、庁舎1階・村民会館1階でもお聴きいただけます。

次の定例会は
3月の予定です。

編集委員

委員長 岡村 星弥
副委員長 堀川 友久
委員 坂本 史
仙頭 一貴
西笛 千代子
濱田 圭介
安岡 公二
山本 俊二
小松 康人
岡村 俊彰

詳しく知りたい方は、
村のホームページでも会議録が閲覧できます。

議会事務局
(TEL) 33-2137

トピックス

芸西村・竹灯りの宵



竹灯りの宵「撮影スポット」



令和5年 芸西村成人式（1月2日）